

simc News Letter

Sendai International Music Competition

2019年8月号

仙台国際音楽コンクールニュースレター

第7回仙台国際音楽コンクール【開催日程】ピアノ部門:2019.5.25(土)～6.9(日) ヴァイオリン部門:2019.6.15(土)～6.30(日)

第7回仙台国際音楽コンクール ヴァイオリン部門 ファイナル&ガラコンサート・レポート

片桐 卓也(音楽評論家)

第7回仙台国際音楽コンクールのヴァイオリン部門ファイナルには6名のコンテストが進んだ。ファイナルではひとりにつき2曲の協奏曲が課題とされた。モーツァルトの5曲のヴァイオリン協奏曲から1曲を選び、もう1曲は指定された11曲の協奏曲の中から1曲を選ぶ。ファイナルの演奏は、各日ともまずモーツァルトを2人が続けて演奏、休憩後に別の2人がそれぞれの選んだ課題曲を演奏するという形で行われた。1日で4人の違ったコンテストの演奏を聴くことになった。

1日目(6月27日)はまず荒井里桜がモーツァルトのK219を演奏した。豊かな音色でのびのびとした音楽を展開した。続いてはイリアス・ダビッド・モンカドがK216を演奏。こちらは少し硬質の音だが、モーツァルトの音楽の流れに従った丁寧な演奏を心がけていた。休憩後はまず友滝真由がブラームスの協奏曲を演奏。第1楽章は緊張のためか、音楽が堅い印象だったが、第2楽章からは自然な音楽の動きが出て来て、ロマン派らしい雰囲気を持った音楽となっていった。もう一度休憩が入り、シャノン・リーがチャイコフスキーの協奏曲を演奏した。細部の細かな音まで正確に捉えた演奏で、テクニク的な難所も見事にクリアしていった。終楽章ではオーケストラとの一体感もあった。

2日目(6月28日)はコー・ドンフィがモーツァルトのK219を演奏。積極的に音楽を作っていくという意欲が見えたが、それが空回りする部分も感じられた。続いては北田千尋が同じくK219を演奏。正確性を志した演奏だが、もっと積極的な部分も欲しかった。休憩後は荒井里桜がブラームスの協奏曲を演奏した。スケールの大きさは感じさせてくれたが、ブラームスらしい陰影を浮き立たせるところまでは至らなかった。最後にイリアス・ダビッド・モンカドがチャイコフスキーを弾いた。少し速めのテンポで第1楽章を演奏していたが、途中で肩当てが外れてしまうというアクシデントがあった。それでも難しいカデンツァなどをそのまま弾き切ったのは立派だった。音色がもっと豊かであれば、さらに良い演奏になったと思う。

3日目(6月29日)はまず友滝真由がモーツァルトのK219を演奏した。明るい音色で、モーツァルトの音楽の流れに乗った演奏を展開。第2楽章では美しいニュアンスを感じさせてくれた。続いてシャノン・リーがK218を演奏。的確な演奏で、特に第3楽章のアンダンテ・グラ

チオーソでは様々な音楽の表情を描き出していた。休憩後にはコー・ドンフィがシベリウスの協奏曲を演奏した。情熱的ではあるが、細部で荒々しさ

が目立つ演奏でもあり、よりコントロールした音色が求められる。そしてファイナルの最後に北田千尋がメンデルスゾーンのホ短調協奏曲を演奏した。これは超有名曲で、あえてその難しい課題に挑戦したことは評価出来る。演奏も自然な音楽の流れに沿ったもので、破綻はなかったが、さらにロマン派らしい感情表現が出来れば良かった。3日目の演奏の後には結果発表、表彰式が行われた。

6月30日には上位入賞者3人が出演するガラコンサートが開催された。演奏順は第4位となった北田千尋がメンデルスゾーンのホ短調協奏曲を、次いで、第3位となった友滝真由がプロコフィエフの第1番を、そして第2位(第1位なし)となったシャノン・リーがバルトークの協奏曲を演奏した。北田のメンデルスゾーンはファイナルの時よりも自由を感じさせる伸びやかな演奏だった。友滝はしっかりしたテクニックの上に構成された安定感のある演奏で、作品の骨格をきちんと表現していた。リーのバルトークは細部にわたって彫琢がはっきりしており、バルトークの魅力をよく伝えていた。高関健指揮仙台フィルハーモニー管弦楽団も素晴らしいサポートで彼女の演奏を支えていた。記憶に残る演奏だった。

残念ながら第1位なしという結果に終わったが、ファイナリストたちはそれぞれの個性を十分に発揮したと思う。同時にまた、それぞれの課題もはっきりしたと言えるだろう。ファイナル期間中の6月28日にはヴァイオリンの弓の作家であるベルギーのピエール・ギョーム氏の講演会も行われ、コンクール開催期間中にはホルのホワイエでパネル展示も行われた。ヴァイオリンという楽器についての知見を増やすという点で、これはとても良い企画だと思った。



ヴァイオリン部門入賞者ガラコンサートの様子